

琉球大学学術リポジトリ

編集後記

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: (M) メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/42305

編 集 後 記

1996年3月に刊行された『教養部の教育と研究』は教養部を廃止するに当たっての自己点検評価報告書であり、およそ33年の歴史を持つ組織が完全に消滅し、新しい組織の中で再生し、未来へ向けて飛翔するための足固めとしての作業でした。

ここに第1号が刊行される『琉球大学大学教育センター報』は上記の自己点検評価報告書を“肥やし”にして生れ出たと言えるでしょう。

教養部廃止後、共通教育等の企画、運営に当たっている大学教育センターにとって、『センター報』第1号の刊行はきわめて重要なジャンプボードとなると信じています。

この『センター報』は今年10月、後学期のはじめに第1号が刊行された『大学教育センターニュース』と対をなすものです。『ニュース』の方はその表題が示すように、主として学生向けの速報を目的としています。一方、『センター報』は主として教官向けの研究・広報誌です。

本号は全体に内容が“硬い”という印象を与えるかも知れません。次号ではより柔軟な編集方針のもとに、いわゆる“読んで面白く、タメになる”『センター報』を作ることも課題のひとつでしょう。

最後に、御多忙中にもかかわらず、玉稿をお寄せくださいました皆様に心から御礼を申し上げ、次号に夢をつなぐべく努力いたしますことをここに明言いたします(M)。